

石造墓塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうぼとう
所在地	玉野市後閑
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	総高2.33mで角礫質凝灰岩製と推測される。西湖寺跡にある中世の墓塔で、至徳2年(1385)の銘がある。西湖寺は、平安末～鎌倉初期の創建といわれ、寛文年間(1661～72)の岡山藩の寺院整理により廃寺になったといわれている。この塔身の上にかかる笠石が特徴的で、塔身の正面には「高心」の刻銘がある。高心とは南北朝期の武将楠正儀の遺臣といわれ、この地で没したと伝わる。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	